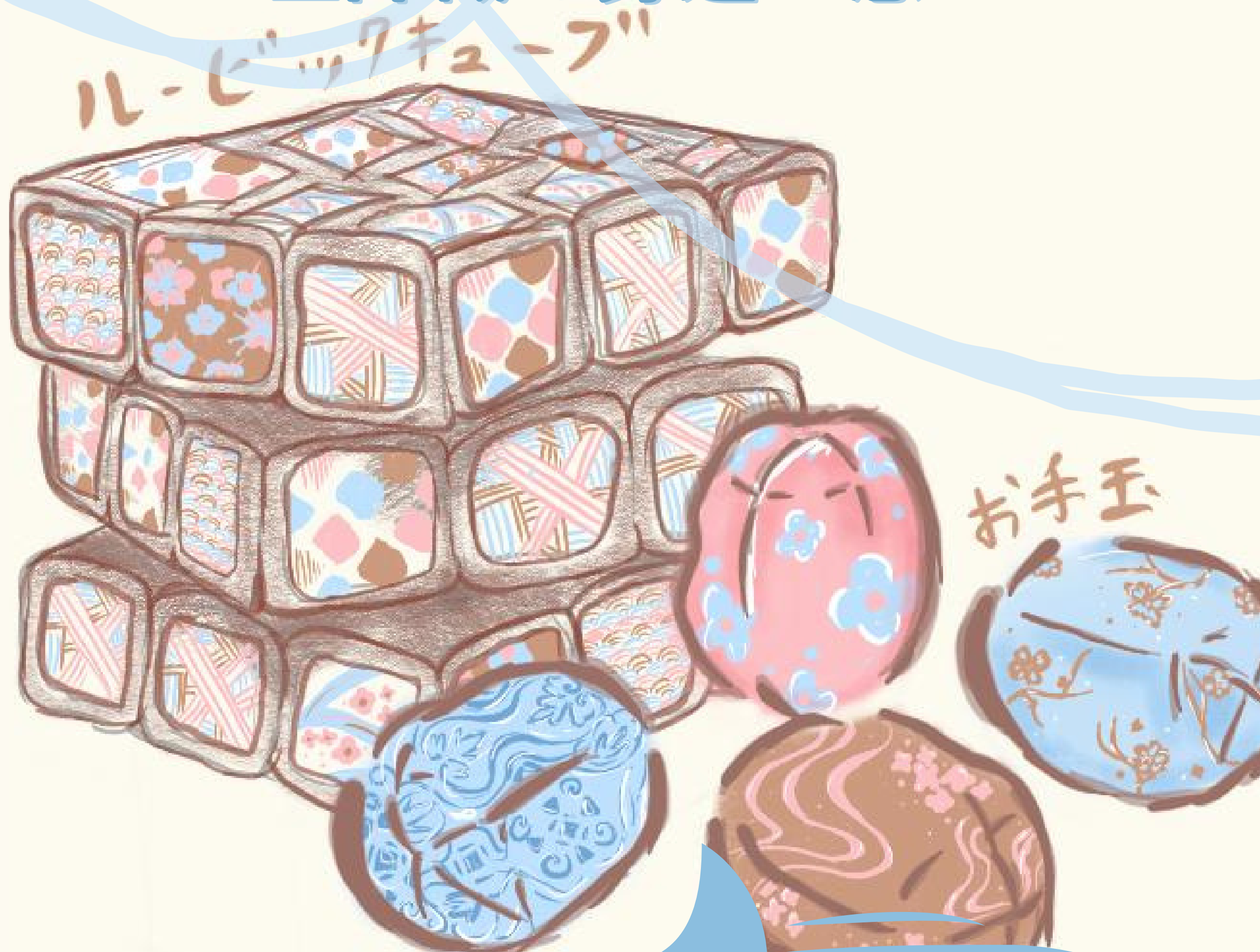


ゆうにしじん 遊西陣

西陣織を身近に感じる

遊西陣とは 西陣織でおもちゃを作る

- **使ってもらう客層は子供**
 - 遊ぶことで楽しむだけでなく、伝統工芸品について知る
 - 絹糸による、鮮やかな色により色彩感覚を養う
 - お手玉やルービックキューブなど繊細な動きを必要とするおもちゃにより、手先の感覚を養う
- **買ってもらう客層は祖父母や子供へのプレゼントを探している人**
 - 高級品なので、両親が買うのは高い
→ 出産祝いや誕生日のプレゼントとして丁度いい価格帯ともの珍しさがある
- **現在の伝統産業の課題**
 - 後継者不足
 - 西陣織を織る人だけでなく、作るために関連する職人の後継者不足もあり、手に入れない物もでてきている
 - 服の西洋化による、織物の需要低下
- **目的**
 - 若い世代にも西陣織について知ってもらう
 - 次の世代と伝統産業品との繋がりを作る
 - 活用を広げることで、需要を増やし、生産を続けられるようにする
- **素材は絹糸**
 - 絹糸は肌にやさしくて肌が弱い子供に適切な素材
 - 長持ちする → 子供の子供も楽しむことが出来て、何世代にもわたり楽しむことが出来る
 - 天然繊維のため、生分解性な素材である → サステイナブル
- **ルービック・キューブ**
 - 機織り機で使われている木材が使用されている
 - マスが違う糸や折り方で作られている
 - 金箔入りの糸や見る角度で模様・色が変わる

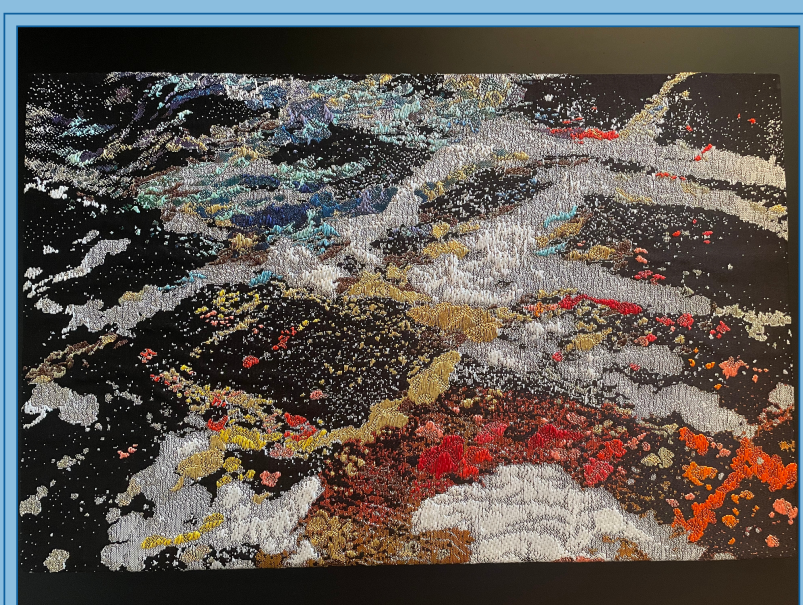


おもちゃの詳細

- 最近流行ってるシンプルでオシャレな子供のおもちゃ
- 遊ばなくなったあとでも飾ることで鑑賞もできる
- 織物の凸凹した手触りも楽しんでもらう
- この2つだけでなく西陣織でたくさんの種類のおもちゃが作れる
他の例：けん玉、手毬、ぬいぐるみ、輪投げなど。。。

西陣織とは

- 京都の先染織物の総称
 - 訪問させていただいた工房：龍村光峯錦織工房
 - 西陣織でも錦織という種類を作る
 - 絹糸を縦横に組み合わせて織る
 - 縦×横の組み合わせ凹凸（立体感）や様々なデザインを作る
 - 「西陣織は一つの伝統技術で成り立っていない」
 - 絹糸を作るための工程や機織りの機会の部品一つにも別の職人さんが関わっている
- 工程を1つでも省いてしまうと伝統産業が失われてしまう



教科の知識：美術

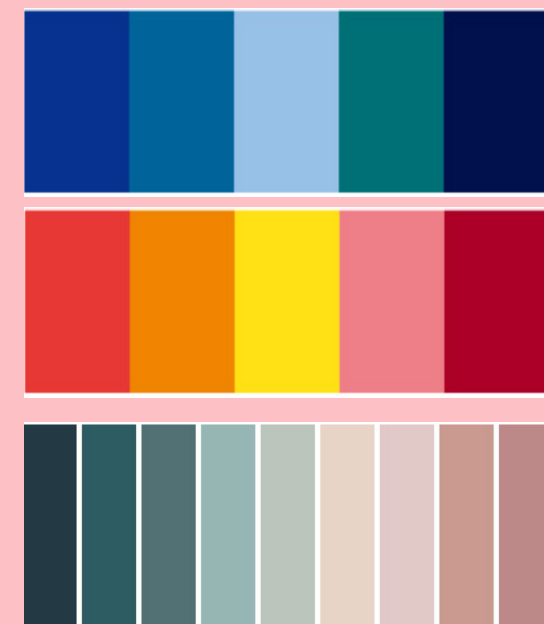
知識を活用することで用途に合わせて、遊西陣の多様な展開ができる

色彩：

1. 統一性を持たせて飾っても見栄えするようにする
2. 様々な心理的な効果を生み、用途によって様々な系統の色を使い分ける

例：

- **暖色系**：優しさや温かみをもたせる
- **寒色系**：落ち着きや集中力をもたせる
- **アースカラー**：重厚で落ち着いた雰囲気を作り「癒し」や「和み」



柄デザインの構成：

1. 柄により雰囲気を作り出し
2. 和の柄を取り入れることで縁起物としての意味合いも作る
3. 色と同じように心理的な効果がある

柄の例：

- 緩やかな曲線：柔らかい、優美な
 - 急なカーブの曲線：ダイナミック、激しい
- 和柄の例
- 麻の葉文様：成長
 - 扇文様：未来の反映

